



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月8日

上場会社名 株式会社 アドバンス・メディア
 コード番号 3773 URL <http://www.advanced-media.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 清幸

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 立松 克己

TEL 03-5958-1031

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	2,729	21.4	240	44.5	384	90.2	347	77.7
2018年3月期第3四半期	2,248	58.6	166		202		195	

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 272百万円 (33.8%) 2018年3月期第3四半期 203百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	19.65	
2018年3月期第3四半期	12.29	11.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	10,315	9,522	90.6
2018年3月期	7,212	5,504	73.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 9,350百万円 2018年3月期 5,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		0.00	0.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	8.6	700	8.0	680	11.4	561	7.4	31.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社Rixioを連結子会社として、連結の範囲に含めております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	18,267,524 株	2018年3月期	15,929,405 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	133 株	2018年3月期	100 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	17,707,238 株	2018年3月期3Q	15,929,330 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、「既存コアビジネスのさらなる成長」をBSR1（第一の成長エンジン）、「新規ビジネスの創生・M&A・海外事業」をBSR2（第二の成長エンジン）と位置付け、これら音声認識ビジネスに人工知能などを付加し価値を増幅させることでBSR（超音声認識）ビジネスに進化させていき、増収増益の構造を強固にすることを目指しております。

そのような中、当社のコア技術である「AI音声認識」（AIにより認識精度などが向上した音声認識：AmiVoice®）や「音声AI」（音声認識を含む音声処理を前提としたAI技術：AmiAgent®）が、働き方改革の浸透、労働力人口の減少等による各企業における生産性向上・業務効率化のニーズにマッチし、その利用が好調に推移いたしました。

その結果、売上高に関しましては、BSR1（第一の成長エンジン）はVoXT事業部を中心に全ての事業部で堅調に推移し、前年同期比14.4%増となりました。BSR2（第二の成長エンジン）は、ビジネス開発センター、連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD.、株式会社グラモが増収し前年同期比44.8%増となりました。当社グループ全体では、前年同期比21.4%増となり増収構造を強化することができました。

損益に関しましては、BSR1（第一の成長エンジン）においては、前期に引き続いてCTI事業部が営業利益を牽引するとともに、医療事業部で大型のライセンス収入を獲得したこと等により前年同期比で増益となりました。一方、BSR2（第二の成長エンジン）においては、海外事業部で事業構造の再構築のためにコストを先行させたこと等により赤字幅が拡大したものの、当社グループ全体では、前年同期比44.5%増となり増益構造を強化することができました。経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については、営業外収益として為替差益81百万円を計上し増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,729百万円（前年同期は売上高2,248百万円）、営業利益240百万円（前年同期は営業利益166百万円）、経常利益384百万円（前年同期は経常利益202百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は347百万円（前年同期は四半期純利益195百万円）となりました。

音声事業の各分野別の状況は、以下のとおりであります。

①CTI事業部（BSR1）

コンタクトセンター向けAI音声認識ソリューション「AmiVoice® Communication Suite」に感情解析機能とLSTM技術（ディープラーニングの発展技術であるリカレントニューラルネットワーク）を搭載し、感情の見える化と認識率の大幅な向上を実現しました。また、アマゾンウェブサービス（AWS）のクラウド型コンタクトセンターサービスAmazon Connectと連携をするなど、様々な企業との連携を進めました。

②STF事業部（BSR1）

金融機関を中心に、対面打合せ、面談、商談等での音声認識技術AmiVoice®を利用した会話の文字化により、業務の効率化を図るニーズの高まりが顕在化しており提案を進めました。その他、クラウドサービス等が堅調に推移しました。

③医療事業部（BSR1）

10月から医療向けのAI音声認識ワークシェアリングサービス「AmiVoice® iNote」の販売を開始しました。また、調剤薬局向け製品において、OEM先より大型のライセンス収入を獲得いたしました。

④VoXT事業部（BSR1）

音声認識文字起こしクラウドサービス「ProVoXT」に、スマホから録音・アップロードが可能なiOSアプリをリリースしました。引き続き、働き方改革の流れに伴い効率的に議事録作成を行うニーズの高まりから、音声認識技術AmiVoice®を活用した議事録作成支援システムやクラウドサービスの採用が、地方自治体、大手民間企業や報道機関等で進みました。

⑤SEC事業部・海外事業部・ビジネス開発センター（BSR2）

SEC事業部は、AI対話ソリューションAmiAgent®の拡販に向け、パートナーとの連携を進めました。

海外事業部は、中国の家電メーカー美的集団のコールセンター全席（1,500席）へ、コールセンター向け音声認識ソリューションを納品いたしました。また、将来的な事業拡大を見据え事業体制やパートナー戦略等の再構築を進めました。

ビジネス開発センターは、建設業界向け建築工程管理のプラットフォームサービス「AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム」が5,000ライセンスを突破するなど、ユーザー数を増やしました。あわせて、同クラウドサービスを利用した人材（AISH）サービスも堅調に推移いたしました。

⑥連結子会社等（BSR2）

AMIVOICE THAI CO., LTD.（タイ王国）は、金融機関を中心にAI Virtual Agentの導入が進みました。また、既存顧客の拡張案件及び新規顧客の受注獲得等が堅調に進みました。

株式会社グラモは、ゲートウェイやネットワーク設定が不要で、取り付けだけで遠隔制御を実現できる日本初のLTE-M搭載スマートロックを開発いたしました。あわせて、株式会社レオパレス21向けの、スマートフォンによる家電制御機器「Leo Remocon」や、スマートロック製品「Leo Lock」の納入を進めました。

株式会社速記センターつくばは、自治体向け・裁判所向け・民間向け案件の受注獲得等を進め、売上高がほぼ前年同期並みになりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は10,315百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,102百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が2,500百万円増加したこと等によるものであります。

負債は792百万円となり、前連結会計年度末に比べ915百万円減少いたしました。これは主に社債が770百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、9,522百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,018百万円増加いたしました。これは新株予約権の行使(無担保転換社債型新株予約権付社債の権利行使を含む)により資本金1,895百万円及び資本剰余金1,893百万円を計上したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は90.6%(前連結会計年度末は73.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月8日付公表の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,341,883	6,842,511
受取手形及び売掛金	1,119,590	715,314
電子記録債権	18,525	12,681
商品及び製品	77,075	68,132
仕掛品	10,176	33,153
原材料及び貯蔵品	26,318	43,235
未収入金	3,196	7,118
その他	109,165	135,679
貸倒引当金	△4,403	△1,492
流動資産合計	5,701,528	7,856,333
固定資産		
有形固定資産		
建物	79,151	82,703
減価償却累計額	△39,893	△40,947
減損損失累計額	△32,655	△32,655
建物（純額）	6,602	9,099
その他	201,607	217,168
減価償却累計額	△143,705	△149,098
減損損失累計額	△11,348	△10,926
その他（純額）	46,552	57,143
有形固定資産合計	53,155	66,242
無形固定資産		
ソフトウェア	268,008	282,767
ソフトウェア仮勘定	42,779	72,306
のれん	5,565	17,975
その他	115	115
無形固定資産合計	316,468	373,165
投資その他の資産		
投資有価証券	619,479	1,523,226
敷金及び保証金	86,556	90,146
長期前払費用	282,597	255,755
その他	152,933	150,794
投資その他の資産合計	1,141,566	2,019,923
固定資産合計	1,511,190	2,459,331
資産合計	7,212,718	10,315,665

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,976	40,978
短期借入金	33,335	37,502
1年内返済予定の長期借入金	2,912	8,666
未払金	119,145	96,337
未払法人税等	126,089	29,995
前受金	198,038	275,895
その他	179,322	118,292
流動負債合計	736,819	607,668
固定負債		
社債	770,000	-
長期借入金	147,088	158,668
繰延税金負債	46,754	18,695
資産除去債務	7,682	7,786
固定負債合計	971,524	185,149
負債合計	1,708,344	792,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,973,097	6,868,417
資本剰余金	3,982,452	5,876,092
利益剰余金	△3,784,635	△3,436,927
自己株式	△149	△226
株主資本合計	5,170,765	9,307,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,950	42,311
為替換算調整勘定	869	1,302
その他の包括利益累計額合計	106,819	43,614
新株予約権	42,840	-
非支配株主持分	183,949	171,877
純資産合計	5,504,374	9,522,847
負債純資産合計	7,212,718	10,315,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	2,248,411	2,729,981
売上原価	649,673	818,774
売上総利益	1,598,737	1,911,207
販売費及び一般管理費	1,432,629	1,671,190
営業利益	166,108	240,017
営業外収益		
受取利息	17,897	31,074
為替差益	14,881	81,377
投資事業組合運用益	10,980	21,043
業務受託手数料	3,789	-
持分法による投資利益	-	10,280
雑収入	2,196	2,382
営業外収益合計	49,744	146,158
営業外費用		
支払利息	404	1,217
持分法による投資損失	13,323	-
雑損失	76	629
営業外費用合計	13,803	1,847
経常利益	202,048	384,328
特別利益		
新株予約権戻入益	9,364	-
特別利益合計	9,364	-
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	211,413	384,328
法人税、住民税及び事業税	39,012	48,521
法人税等合計	39,012	48,521
四半期純利益	172,400	335,806
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,352	△12,072
親会社株主に帰属する四半期純利益	195,753	347,878

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	172,400	335,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,930	△63,638
為替換算調整勘定	7,171	928
持分法適用会社に対する持分相当額	9,290	△494
その他の包括利益合計	31,391	△63,205
四半期包括利益	203,792	272,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	227,145	284,673
非支配株主に係る四半期包括利益	△23,352	△12,072

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使(無担保転換社債型新株予約権付社債の権利行使を含む)による新株発行に伴い、資本金が1,895,320千円増加し、資本剰余金が1,893,640千円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません